

周辺住民の方への説明会が開催されました

4月29日(木)の「みどりの日」に動物衛生高度研究施設の地元住民の方への公開・説明会が催されました。当日は、一般・報道関係も含め25名の方が訪れ、パネルによる施設・設備の概要説明の後、職員の案内で数班に分かれて施設内部の見学が行われました。

見学には主要2フロアを中心に班ごとに約40分ほどをかけたのですが、1フロア3,000m²を超える巨大な施設ということもあり、時間的にはやや駆け足だったかもしれません。見学者の興味の中心は病原体の外部流出に対する対応策等、安全性の確保にあったようで、案内する職員もこれらを念頭に置いてできる限りわかりやすく説明していました。中には工学の専門家も参加されており、非常時における安全管理についての鋭い質問も出されていましたが、施設の意義や目的も含めほぼご理解頂けたも

のと考えます。

今後は、施設への理解を示して頂いた地域の信頼に応えつつ研究成果を出していくことが動物衛生研究所に与えられた重い使命と考えています。

(動物衛生高度研究施設竣工式準備会)



パネルによる概要説明風景

平成16年度一般公開を終えて

平成16年度一般公開が4月14日(水)に行われました。研究成果紹介のコーナーでは「人獣共通感染症(ズーノーシス)」を取り上げました。その一つである高病原性鳥インフルエンザが、今年1月、日本で79年ぶりに発生しました。そこで、鳥インフルエンザのコーナーを設けて、病気の解説や電子顕微鏡写真によりウイルスの構造を紹介しました。また、ウイルスの種類を判定する確定診断の検査手順についても専門の研究者からわかりやすく解説しました。来訪者は中学生をはじめ幅広い年齢層の方々に、熱心に説明を聞き、質問をしたりメモを取ったされていて、この病気に対する関心の高さを伺い知ることができました。

今年初めての試みとして、当所が開発した診断薬(市販品)を用いたミニ実験「体験!病気を探せ」を実施しました(写真)。参加した中高生は、記念の「体験コース

修了証」を手にして、にっこりしていました。

盛り沢山の企画でしたが、成功裏に終了することができました。ご来所下さった方々に御礼を申し上げるとともに、ご協力下さった所内の皆様に感謝いたします。

(広報委員会事務局)



「体験!病気を探せ」でのミニ実験